【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【公表番号】特表2004-517579(P2004-517579A)
【公表日】平成16年6月10日(2004.6.10)
【年通号数】公開・登録公報2004-022
【出願番号】特願2002-557036(P2002-557036)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｂ　3/23
　Ｈ０４Ｍ　1/00
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｂ　3/23
　Ｈ０４Ｍ　1/00　　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成15年1月16日(2003.1.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
通常のＬＭＳベースのエコーキャンセラの配置を図１に示す。これは、「送信」経路と「受信」経路に沿って伝送される２つの信号を含む。エコー・ソース信号はエコーキャンセラにR_{IN}として入力し、R_{OUT}として出てくる。送信経路入力、S_{IN}は、ダブルトーク信号から構成され、（存在する場合には）エコー経路に沿って伝送された後のエコー・ソース信号も付加される。エコー経路を推測することにより、送信経路のエコーをキャンセルするための合成エコー信号が生成可能である。エコーをキャンセルされた信号はS_{OUT}として出てくる。